土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　査　名　主要地方道呉環状線　災害実施設計書作成に伴う業務委託

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象　道路 構造物基礎

ボーリング名	H30-Br-12	**調査位置**	広島県呉市焼山町地先			**北　緯**	34° 17′ 50.21″
発注機関	広島県西部建設事務所呉支所			**調査期間**	2019年　3月　7日 ～ 2019年　3月　9日	**東　経**	132° 32′ 17.17″
調査業者名		**主任技師**		**現場代理人**		**コア鑑定者**		**ボーリング責任者**	
孔口標高	T.P. 140.60m	**角度**	180° 上下 90° 0° 0°	**方位**	北 0° 90° 東 180° 南 270° 西	**地盤勾配**	水平0° 鉛直 90°	**使用機種**	**試錐機**	KANO KR-150HA
総削孔長	8.00m								**エンジン**	YANMAR製 NFD12	**ポンプ**	KANO V5-P

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事	孔内水位／測定月日
1	139.00	1.60		砂礫		茶褐色				中～粗粒砂主体の砂礫。 礫径はφ10～30mm、50mm前後のものが多い。 現河床、土石流堆積物に相当する。	06.06 8.66
2	138.60	2.00		玉石混じり砂礫						岩片は風化変色し、やや硬質。	
	138.30	2.30		砂礫						φ0.5～2cmの礫を含む砂礫。	
3										中硬岩。2.3mから巨斑晶からなる粗粒花崗岩。 4.4mまで5cm～20cmの岩片状～棒状コア。 3.2m～3.3mに貫入脈あり。3.3m～3.85mまで連続する縦亀裂あり。 強弱あるが一様に鉄分汚染蒙る。 岩片自体は硬いが所々表面を擦ると粒子の分離あり。 4.15m～4.4m低固結な砂 状コア。 4.4～5.0m棒状コア。 4.8mまでCM級、CH級岩盤に相当。 5.5m以深、15～20cmの棒状コア主体とし、6.0m付近より硬質となる。CL～CM、CH、D～CL級混在。 7.5mにシャープな70° のせん断面あり。 7.72m以深、風化著しくナイフで輪切りにできる。 上面に明瞭な鏡肌と黄褐色の粘土フィルムを伴う。	
4											
5				花崗岩		褐灰					
6											
7											
8	132.60	8.00									

標準貫入試験

深度－N値図（0 10 20 30 40 50）

N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
32	1.15	9	11	12	32/300		
	1.45						
107	2.15	13	37		50/140	140	
	2.29		40				
500	3.00	50/30			50/30	30	
	3.03						
1500	4.00	50/10			50/10	10	
	4.01						
107	5.15	36	14		50/140	140	
	5.29		40				
750	6.00	50/20			50/20	20	
	6.02						
1500	7.00	50/10			50/10	10	
	7.01						
500	8.00	50/30			50/30	30	
	8.03						

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	原位置試験	削孔月日
					3/7
					3/8
					3/9